

小城市立岩松小学校  
学校だより 第2号



岩松小だより

令和6年4月12日発行  
発行者 校長 真子靖弘

### 入学式

12日(金)、令和6年度の入学式を実施しました。5、6年生の拍手で迎えられ入場する1年生(29名)は、緊張とともに笑顔に満ちていました。



式辞として、

- ・学校は楽しいところであること
- ・「3つの名人」をめざしてほしいこと

の2点を伝えました。

1つ目は、保育園や幼稚園と異なり、多くの教室があること(音楽室や図工室等)。思い切り運動できる広い校庭があること。運動会や6年生ありがとう集会等、様々な楽しい行事があること等を話しました。



2つ目は、学校教育目標である「自律」・「協働」・「創造」を「3つの名人(かんがえ名人、きょうりよく名人、がんばり名人)」として伝えました。

<「かんがえ名人」になるコツ>

「なぜだろう?」「本当かな?」と心の中で思いながら話を聞けばよい。そうすると、勉強も、運動も、きつとうまく。

<「きょうりよく名人」になるコツ>

勉強や遊び、給食準備等、友達と一緒に何かをする時、相手のことを大切に思いながら、一緒に行動できるとよい。

<「がんばり名人」になるコツ>

勉強や運動でうまくいかない時に、自分の力を信じ、あきらめずに、やり続けるとよい。

義務教育初年度となる小学1年生は、自分の好きなことや得意なことが分かってくる中で、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるための重要な時期です。ご家庭でも家族の一員としての役割を担ってもら(例えば、お風呂掃除や洗濯物運び)のも、基盤づくりにつながります。

学校と家庭が手を携え、子どもの自立に向けて協力していきましょう。

### 素敵な岩松っ子

朝、校門付近で挨拶運動ボランティアの子どもや古川先生、藤瀬先生等と子どもたちを迎えています。その時、岩松小の子どもは「すごいな!」と感じていることが2つあります。

一つは、あいさつです。立ち止まり爽やかにあいさつをし、頭を下げる姿に驚きました(えっ、皆、野球部?と思いました)。8日(月)の始業式の中で、永瀬結維先生が語先後礼の話をされましたが、子どもたちは、確実に実践しています。また、8日(月)の赴任式の中で、西山茉那さんが紹介してくれた「岩松っ子七つの誓い」の中の一つ“まごころであいさつする”もしっかり意識できています。あいさつには、人との距離を縮める力があります。岩松小の子どもたちとの距離がぐっと縮まるのを感じています。

もう一つは、学年の壁がないことです。学年や男女に関係なく、話しかけている姿があります。いい雰囲気だなと感じています。素敵な岩松っ子たちです。

### 小城市いじめ防止、心を考える日

小城市は、毎月10日を「小城市いじめ防止、心を考える日」と定めています。「いじめの現状について」(令和3年11月22日 文部科学省 初等中等教育局)によると、小学校におけるいじめの態様ベスト3は、

- 第1位 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- 第2位 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- 第3位 仲間はずれ、集団による無視をされる。

学校では、人権・同和教育や道徳、教科指導、生活指導等、あらゆる機会を通じて、「思いやる心」や「人権や互いの違いを尊重すること(多様性を認める)」等を子どもたちと一緒に考えています。また、全ての子どもたちに対し、「出番・役割・承認」による自己肯定感を高める指導も行っています。

ご家庭でもいじめ防止について話をお願いします。